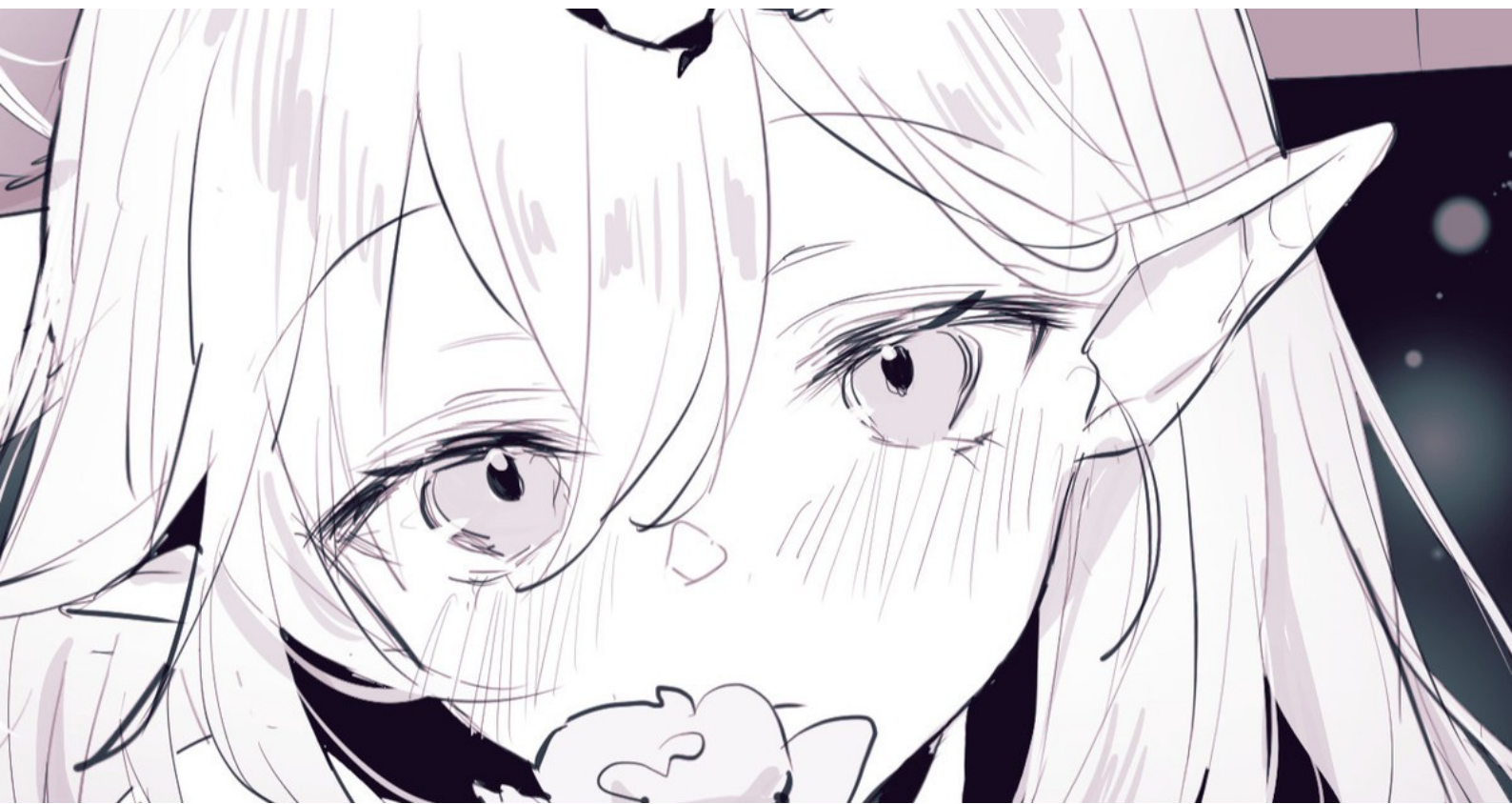




衰弱した  
エルフを  
格安で買った

忌<sup>い</sup>み子で  
魔力が無いし

体も貧相

物好きだねえ…

まあ使い道は  
詮索しないでおくよ

小さな町倉庫を  
営んでいて  
手伝いがほしかった

その日。  
座ったまま一晩  
すごしたらしい

相当ひどい  
扱いをうけて  
きたんだろう

これは  
人並みの  
生活から  
教えないと  
いけないな…



自分の意志で  
言葉を発したのは

半年ほど経った  
ある日の事だった

おいしい…

「はい」以外  
喋れるんだな



いくらでも  
買ってやるから

半分残して  
隠すのやめて



痩せ細った体も  
いつしか

想像以上に  
成長していた

いくら落ち着く  
とは言っても

その布では  
限界がある…

ご主人様

これは  
どうですか？

おお

いいんじゃないか？



いろいろ  
選択肢は  
あったが

結局  
エルフの  
伝統服にした

私なんかが

このような  
服を召しても  
いいのでしょうか

良く  
似合ってるよ



迎えて  
数年

とても  
働き者で

従順で  
勤勉

心の傷も  
少しは癒えて  
いたらいが…



ご主人様

今夜は  
冷えますので

床を温めて  
おきます…

?

ああ

ありがとう



!?

ご主人様  
ご奉仕させて  
ください...

私じゃ  
ダメで  
しょうか?



...

そんなつもりで  
雇ったんじゃない  
ちゃんと自分の  
幸せを考えてほしい

ナニ







ご主人様の…♡

あたたかい♡  
好き…♡♡

オシロイ

はぁ…♡

はぁ…♡

はぁ♡

…やっと  
ご奉仕

ごめんなさい♡

はぁ♡

くっ…くっ…くっ…  
くっ…くっ…くっ…

くっ…  
くっ…  
くっ…



ずっと  
我慢してた  
のに……

こんな  
こと……ッ♡

今日は  
頭がぼーっ  
として……♡

ずっと  
こうして  
いたい……♡



ご主人様  
私幸せです...♡

あ♡ほ♡

あああ♡

ひゅ  
くろくろはあ♡

ぐ  
ぐ